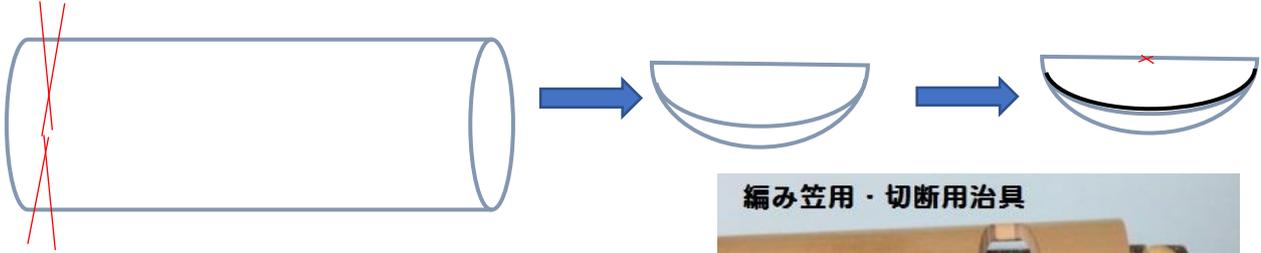


民芸品工作「おわら風の盆」の作り方

2022.08.03 担当：大地

1. 編み笠

径約 34mm の丸太（センダン）を赤線のように、斜めにノコギリを入れて切断する。
逆側からも同様に斜め切りすることで2枚できる。
円周上に黒糸を、中心に赤糸をボンドで貼り編み笠らしくする。



※竹製の、**切断用治具**を利用して下さい。右写真→
班に1個 幅は一部調整の要あり

2. 袖

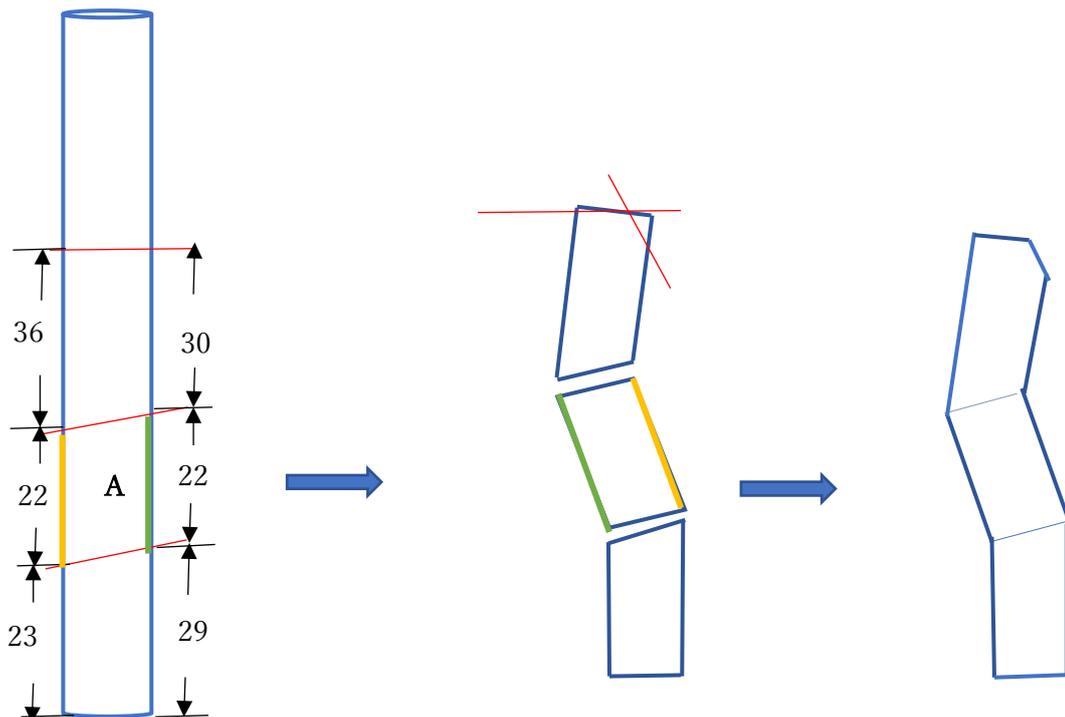
径約 30mm の丸太（くすのき）を使い、編み笠を切り出し、4個の袖を作る。



※竹製の、**切断用治具**（班に1個）を利用して下さい。

3. 胴体

径約 15mm の小枝（センダン・サクラ・クスノキ）を下記赤線のようにノコギリで切断する。
切り離した小枝 **A** は左右を反対にして、膝の部分と腰の部分が出るように（ジグザクに）ボンドで貼り合わせる。前後の水平が保たれていなければ適宜上部あるいは下部を切り直し修正する。
襟に相当する所を一部斜め切りする。



4. 三味線

胴は平板を適当な形・大きさ（8×10mm）にカットし、板右にφ2穴を開ける。アベリアの茎の、φ2mm穴の開いている方に竹楊枝を差し込む。アベリアを4mmの長さに切り（3つ）、糸巻きを作る。一番下のように、ボンドで接着し完成



5. 帯

リボン（布の切れ端・幅 12mm～20mm 程度）を胴体上部（腰の上）にボンド・瞬間接着剤で貼り付け、帯の形にする。

真竹の竹の皮を胴体上部（腰の上）に巻き、後（背中）で結ぶのも自然物でいい。

6. 下駄

平板(長さ 8cm)を長さ(15～20 mm程度)を4つに切る、下駄先に丸味を持たせ、胴体底部に貼る。

7. 立て札・おわら風の盆

8. 台座

※組み立て

接着面をヤスリやカッターナイフで作ればボンド接着だけでOKです。

写真のようにボンドで順次貼り付けて人形を仕上げ、台板の適当な場所に配置する。ただ足元（足と8台座）だけは楊枝で繋ぐほうが良いと思います。



おわら風の盆工作セット

①



※赤糸はリリアンも可。交換あり
※帯は他の柄もあります。交換可

②



- ③ 1、編み笠を切る（男女用に2つ）
- ④ 2、袖を切る（男女用に4つ）
- ⑤ 3、胴体を男女用それぞれ1本選ぶ
→作り方の寸法に切る

